

薬事エキスパート研修会・特別コース
2011年度「薬害教育」基礎研修講座
－薬害事例から学ぶリスク低減化策－

主 催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 (旧 日本公定書協会)
 後 援 日本製薬団体連合会 米国研究製薬工業協会(PhRMA)
 日本製薬工業協会 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)
 社団法人東京医薬品工業協会 日本 CRO 協会
 大阪医薬品協会 社団法人日本医薬品卸業連合会
 日本 OTC 医薬品協会 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
 日本ジェネリック製薬協会 日本医療機器産業連合会
 公益財団法人 MR 認定センター

【研修会趣旨】

「医薬品」は、いうまでもなく、効果と副作用のバランスの上に成立するものであり、副作用のないものは存在しません。使い方によっては、その有効性より、有害作用が強く現われることがあり、これまでも「薬害」という社会的関心と呼んだ大規模な健康被害事例を数多く経験してきました。

当財団では、かねてより、社会的に大きな問題を引き起こした「薬害」及びそこから得られた教訓を、社会的財産として記録、整理、分析するとともに、その教訓が如何に現在の薬事制度に活かされてきたかについて明らかにする作業を進めております。昨年度、第一回「薬害教育」基礎研修講座を開催したところ、大変好評であったことから、今年度も、昨年に引き続き、『2011年度「薬害教育」基礎研修講座－薬害事例から学ぶリスク低減化策－』を開催することと致しました。

本講座は、戦後の代表的な薬害事件について、主として被害者の方々からの「生」の声を聴くことにより、医薬品を創製、製造、使用し、さらには承認する関係者にとり、個々の薬害事件の経緯、なぜ防止できなかったのか、得られた再発防止に向けた教訓は何か、教訓は現在の薬事制度に如何に活かされてきたか、薬害問題を今後の安全対策に生かすための課題は何か等について、系統的に研修する機会を設けました。製薬企業等関係者、医療関係者、アカデミア、教育関係者、行政当局等、幅広い関係各位のご参加をいただき、今後の医薬品等に関連したリスク最小化のための管理に活かしていただきますようお願い申し上げます。

【日程及び場所】

日 程	場 所
平成23年12月1日(木)～2日(金)	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 Tel. 03-3406-3326

会場地図は財団ホームページ(<http://www.pmrj.jp>)をご覧ください

【対象者】

製薬企業・医療機器企業の安全性業務担当者、医療関係者、教育関係者、行政関係者、一般の方で薬害教育に関心をお持ちの方。

【募集人員】200名

薬事エキスパート研修会・特別コース
2011 年度「薬害教育」基礎研修講座
 ー薬害事例から学ぶリスク低減化策ー
 (受付開始予定時間 9:00)

【内容及びスケジュール】

日程	時間	講義内容	講師
12月1日 (木)	9:30~9:35	開講の挨拶	寺尾 允男 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団会長)
	9:35~10:00	第1講：戦後の医薬品や医療機器が関連した健康被害 事件の概要	土井 脩 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団理事長)
	10:00~11:00	第2講：ジフテリア予防接種禍事件	田井中 克人 (京都・島根ジフテリア予防接種禍事件 研究会事務局長)
	11:00~12:00	第3講：サリドマイドを生きる	増山 ゆかり (財)いしずえ 事業部長)
	12:00~13:00	休 憩(昼 食)	
	13:00~14:00	第4講：キノホルム事件(スモン)	辻川 郁子 (スモンの会全国連絡協議会事務局長)
	14:00~14:30	第5講：ダイアライザー事件、 Medication Error 防止対策	土井 脩 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団理事長)
	14:30~14:45	休 憩	
	14:45~15:45	第6講：筋肉注射による大腿四頭筋拘縮症	小田 美也子 (薬害筋短縮症の会)
	15:45~16:45	第7講：「薬害エイズ」の教訓	花井 十伍 (ネットワーク医療と人権理事)
12月2日 (金)	9:30~10:30	第8講：C型肝炎事件とその後	泉 祐子 (薬害肝炎全国原告団、(独)医薬品医療 機器総合機構運営評議会委員)
	10:30~11:30	第9講：陣痛促進剤による被害	勝村 久司 (財)日本医療機能評価機構産科医療 補償制度再発防止委員)
	11:30~12:30	休 憩(昼 食)	
	12:30~13:30	第10講：MMR ワクチン薬害事件	栗原 敦 (独)医薬品医療機器総合機構救済 業務委員会委員、MMR被害児を救援 する会事務局長)
	13:30~14:00	第11講：ソリブジン事件	土井 脩 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団理事長)
	14:00~15:00	第12講：薬害ヤコブ病	山村 伊吹 (薬害ヤコブ病原告の会)
	15:00~15:15	休 憩	
	15:15~16:00	第13講：イレッサ事件	土井 脩 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団理事長)
	16:00~16:45	第14講：過去の薬害事件の教訓は如何にリスク マネジメントに活かされたか	土井 脩 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団理事長)

(敬称略)

* 演題、講師、時間、会場等一部変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

* 最終日の午前 9:00 から受講証明書をお渡し致します。

【申込要領】

1. 申込方法及び期日

(1) 下記払込取扱票にてお申し込み下さい。

法人会員：当財団から送付する規定の払込取扱票

個人会員／非会員：ゆうちょ銀行、郵便局備えつけの払込取扱票

振込先：(財)レギュラトリーサイエンス財団 振替口座 00190-9-97409

* 次の事項を払込取扱票の通信欄にご記入の上、受講料をご送金下さい。11月1日(火)より受講券をお送り致します。振替払込金請求書兼受領証をもって領収書に代えさせていただきます。

通信欄に必ずご記入下さい。

- (1) 会社名, 所属
- (2) 受講者名：1枚につき1氏名
- (3) 連絡先：郵便番号, 住所, 電話番号
- (4) 「薬害教育」の文字

* ゆうちょ銀行及び郵便局以外の銀行振込、現金送金をご遠慮願います。なお、受講料受領後の払い戻しは致しませんので、予めご了承下さい。

(2) 入金確認順に受け付けます。

平成23年11月17日(木)以降のお振り込みの場合は下記問合先にご連絡下さい。又は、財団ホームページをご覧ください。

2. 受講料(消費税込)：テキスト代を含みます。

・法人会員 1名につき 30,000円

(法人会員は1口につき4名が会員扱い)

・個人会員／非会員 1名につき 45,000円

・アカデミア／医療関係者／教育関係者 1名につき 13,500円

なお、受講者の方は、わが国の医薬品リスクマネジメントに関連する薬事法や制度等の成り立ちの概要を理解しやすく解説した初めての日英対訳本「日本における医薬品のリスクマネジメント」を特別価格でご購入頂けます。購入方法は下記をご覧ください。

「日英対訳 日本における医薬品のリスクマネジメント」(定価 12,600円)
(企画・編集: (財)日本公定書協会, 英文監修: エーザイ執行役員スチュワート ギリー先生)

本研修会受講者の方は特別価格 **9,900円** でご購入頂けます。ご希望の方は下記金額を振込用紙にてお振込下さい。研修会初日、受付にてお渡し致します。

- ・法人会員 39,900円(受講料 30,000円＋書籍 9,900円)
- ・個人会員／非会員 54,900円(受講料 45,000円＋書籍 9,900円)
- ・アカデミア／医療関係者／教育関係者 23,400円(受講料 13,500円＋書籍 9,900円)

3. 問合先 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15
一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
電話 03-3400-5634(代)
03-3400-5644(薬事エキスパート研修会担当)
FAX 03-3400-3158
URL <http://www.pmri.jp>

4. 注意事項

- 法人会員にお送りした規定の払込書は、会員証となりますので、必ず関係部門へお廻し下さい。
- 申込み後の受講者の変更は可能です。